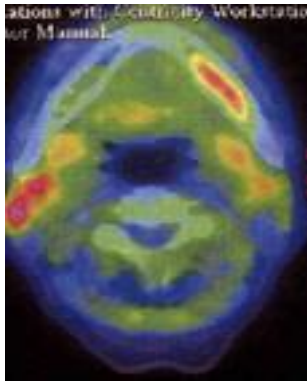
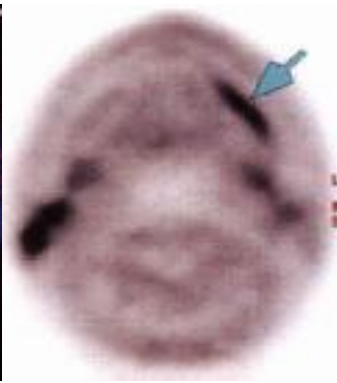


顔面限局AL型アミロイドーマにおける BF227-PET, FDG-PETの検討

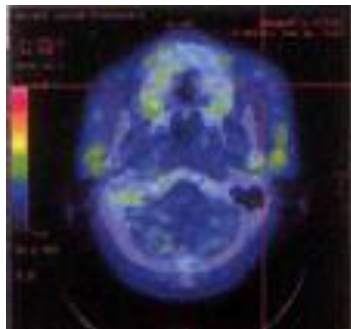
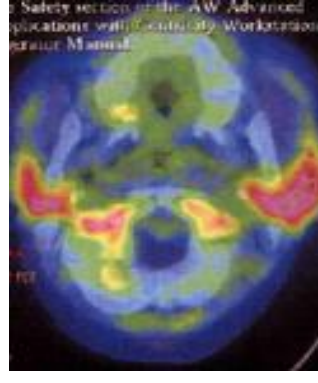
研究分担者: 愛知医科大学腎臓・リウマチ膠原病内科 今井裕一



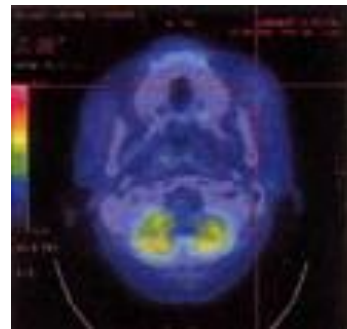
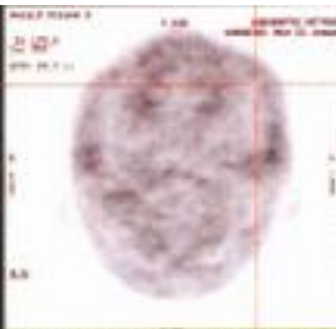
[¹¹C]BF227-PET
左下顎骨内に集積



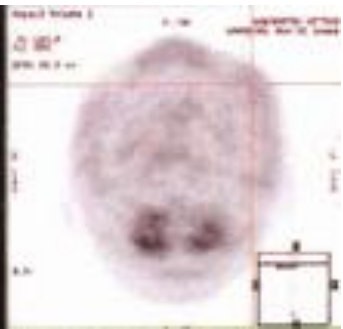
[¹¹C]BF227-PET
右上顎骨内に集積



[¹¹C]BF227-PET
左頬部皮下にわずかに集積



[¹⁸F]FDG-PET
左頬部皮下に集積



解 説

1. [¹¹C]BF227 -PETはAL型アミロイド沈着部位に一致して陽性所見であった。顔面以外に沈着はなかった。
2. 顔面腫脹の一部で [¹⁸F] FDG-PETの方が集積が強かった。
3. アミロイド沈着部位の検索には、[¹¹C]BF227-PETが有用であり、細胞浸潤の検索には、[¹⁸F] FDG-PETが有用である。
4. 顔面限局AL型アミロイドーマでは両者で検討することが重要である。